

【学習の目標と学習方法】

- ・数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得する。
- ・学習した知識及び技能を活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等を育む。
- ・数学のよさを知り、数学を主体的に生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を評価・改善しようとする態度を養う。

<p>授業について</p> <ul style="list-style-type: none"> * 授業は、教科書の内容を中心に進めていきます。 * 教科書、ノートは毎回必要です。また、色ペン2本、定規も毎回持ってきてください。問題集、コンパス、分度器などは必要な時に教科係から連絡されます。 * 習熟度別少人数制の授業形態で行います。 * 暗記が中心ではなく、なぜそうなのか考え方や過程を大切にします。 <p>生徒のみなさんに</p> <ul style="list-style-type: none"> * 板書をノートにしっかり写しましょう。板書以外にも気付いたことをノートに書くとよいでしょう。 * 発言・質問、友達との学びあいを積極的にいきましょう。 * 分からないところは、そのままにせず質問しましょう。 	<p>家庭学習では</p> <ul style="list-style-type: none"> * 学校で習ったらすぐに同じ単元の問題を解きましょう。 * 授業で分からなかった問題を再度、問題集などを利用してやり直しましょう。 * 宿題は、必ずやりましょう。 <p>試験前はこのように取り組もう</p> <ul style="list-style-type: none"> * 計算練習は毎日少しずつでも行いましょう。 * 一度解いた問題を、もう一度解いてみましょう。 * 教科書の問い、まとめの問題、章の問題はもちろん、問題集も活用し、繰り返し学習を行いましょう。 * 数学の用語などは、ノートにまとめておきましょう。 * 解けなかった問題や、わからない問題は先生や友達に聞いて解決しておきましょう。
--	--

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価観点	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。
評価資料	・定期考査 ・小テスト ・提出物(途中式など)	・定期考査 ・小テスト ・レポート ・提出物(途中式など)	・定期考査 ・小テスト ・授業観察 (取り組み状況、グループ活動への参加の様子、発表など) ・提出物 (宿題、問題集、レポート、学習プリント、タブレット課題など)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
1年	第0章 算数から数学へ(3h) 第1章 正負の数(28h)		第2章 文字と式 (18h)		第3章	夏休み	第3章 方程式 (14h)	第4章 比例と反比例 (22h)	第5章 平面図形 (17h)	第6章	冬休み	第6章 空間図形 (18h)	第7章 資料の散らばりと代表値 (10h)	総復習 (13h)	計140h
2年	第1章 式の計算(15h)	第2章 連立方程式 (12h)		第3章 1次関数 (19h)	夏休み	第3章 1次関数(19h)	第4章 平行と合同 (15h)	第5章 三角形と四角形 (21h)	冬休み	第5章	第6章 確率 (9h)	第7章 データの比較 (5h)	総復習 (9h)	計105h	
3年	第1章 多項式(19h)	第2章 平方根 (16h)	第3章 二次方程式 (15h)	夏休み	第3章	第4章 関数 $y = ax^2$ (17h)	第5章 相似な図形 (23h)	第6章 円(10h)	第7章 三平方 (13h)	冬休み	第7章 三平方 (13h)	第8章 標本調査 (6h)	3年間の総まとめ (21h)	計140h	